

短期予報解説資料 2024年9月19日15時40分発表

気象庁

訂正箇所：主要じょう乱解説図の台風第14号と熱帯低気圧に関する文章を訂正

1. 実況上の着目点

① 台風第14号は、東シナ海にあって北西進。台風周辺では、1時間におよそ20mmの雨量を解析、雷を検知。南西諸島では、台風第14号と日本の南にある太平洋高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、やや強い風が吹いて、しけとなっている所がある。

② 前線が日本海から東日本を通過して日本の東へのびている。この前線に向かって、①の高気圧の縁辺をまわる下層暖湿気が流入、東日本では海上を中心に1時間30～60mmの雨量を解析、雷を多数検知。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の台風第14号は、19日は東シナ海から華中へ進み、20日に熱帯低気圧に変わる見込み。南西諸島～西日本では21日にかけて、台風本体や台風周辺の下層暖湿気の影響で、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒し、落雷、突風、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。また、南西諸島や西日本では19日は、台風第14号と1項①の高気圧との間で気圧の傾きが大きく、やや強い風が吹き、しけとなる所がある。強風やうねりを伴う高波に注意。

② 1項②の前線は、19日は東日本を南下し、次第に西から不明瞭になる。また、これとは別の前線が、19日夜までに朝鮮半島付近で顕在化し、20日は日本海から東北地方にのびだし、前線上に低気圧が発生。これらの前線に向かって、1項①の台風第14号の周辺の下層暖湿気や、太平洋高気圧の縁辺をまわる下層暖湿気が流入して、大気の状態が非常に不安定となる見込み。このため、雷を伴って非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。西日本～東北地方では、21日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷、竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。

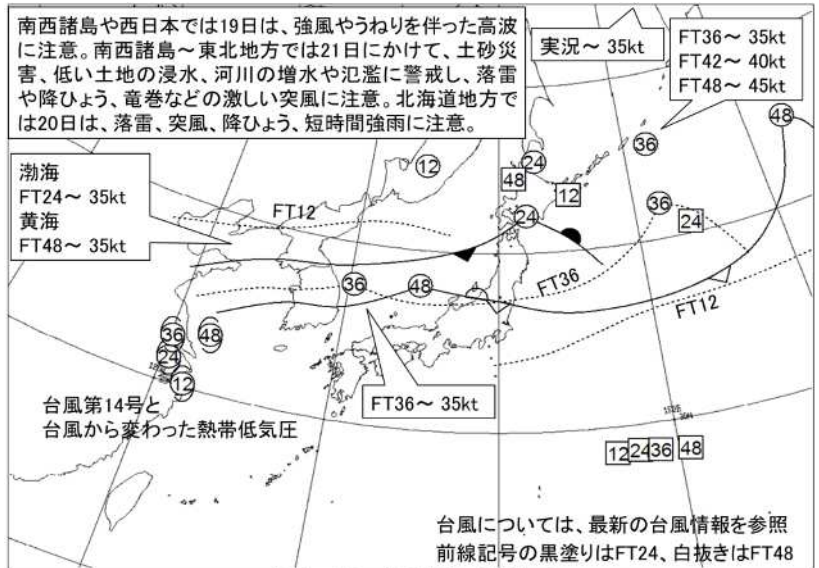
③ 20日は、500hPa 5640m付近のトラフが北海道付近を通過。対応する低気圧が沿海州から千島近海へ進む。これらの影響で、北海道地方では20日は大気の状態が不安定となる。落雷や突風、降ひょう、短時間強雨に注意。

④ 西～東日本では、20日にかけて、500hPa 5940mの上空の高気圧に覆われて、晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症に注意(熱中症警戒アラート参照)。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ①雨量(18時から24時間)：北陸120、沖縄100mm。②波浪(明日まで)：四国・九州北部・九州南部・奄美・沖縄4m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。東日本～南西諸島で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第14号に関する情報(総合情報)」(終了)と「大雨と雷及び突風に関する全般情報」を17時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警戒報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。